

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第46号(20130412)

発行 竹田幸男



第6回ビデオ作品発表会開催

4月20日(土)、1年半ぶりに恒例の松心会館2F視聴覚室で開催し、10時から、13時30分からの2回映写しました。今回は昨年創立10周年を迎えたところで、新しい試みとして「撮影会課題作品」を4作加え、会場を埋めた観衆の方々に「作者の思いを映像で伝えたい」との願いがどれだけ伝えられたかが試される発表会であったと思います。

今年度第1回映像協会撮影会開催

5月8日(水)協会として今年度第1回の撮影会を開催、行き先は有馬温泉。朝8時30分JR東寝屋川駅集合を源流として、京阪線から乗車のグループも京橋駅で合流して、全8人の参加者中、同好会からは6人が参加しました。宝

塚からはバスに揺られて有馬温泉着、思い思いの撮影の後、有馬グランドホテルで昼食。芝生有り、噴水有りの広いホテルの庭園を満喫。

午後も撮影を続け、楽しい一日を終わりました。「現実の風景の中に非現実の仮想の世界を表現してみよう」という目論見が果たせるかどうか、作品の完成を待ちましょう。

例会の窓

平成25年4月総会兼例会

日 時 平成25年4月12日(金)

13:30~16:30

場 所 寝屋川市民活動センター

4階 ワーキングスペース

出席者：新井 天野 石田 佐伯 竹下 竹田 谷 田淵

欠席者：なし(50音順・敬称略)

24年度総会次第

1. 議長選任と出席確認 新井氏が議長となり、全員出席で成立
2. 平成24年度活動報告 別紙資料により竹田会長より報告
3. 平成25年度活動方針 別紙資料により竹田会長より説明
4. 平成24年度決算報告と25年度予算審議 別紙会計資料により審議
5. 役員は小笠原氏が退会されたほかは変更無し。

例会次第

1. 各会員の最近の活動状況・情報交換
Edius Neo3のアップデートでエラーが起こる問題の説明。
2. 活動・連絡・協議事項
 - (1) NVC Monthly4月記事筆者の件(谷さん)
 - (2) 撮影会プロジェクトチームから(天野/新井)
 - ・現実の風景の中に、非現実の仮想の世界を表現してみよう。(フィクション)
 - ・自由にお気に入りの場所を撮影し、楽しいストーリーを展開してみよう。
 - ・有馬温泉撮影会は同好会主導で行う。昼食も決めて申し込みを受ける。
 - ・日時：5月8日(水曜日)
 - ・行き先：有馬温泉

- ・ 集合：JR東寝屋川駅改札口 8時30分集合

(3) 第6回ビデオ作品発表会

- ・ 25年4月20日(土曜日)
- ・ 従来通り10時・13時30分の2回映写
- ・ 会員は8時45分に集合
- ・ 天野さんは10時開始時間に作品説明をされた後、松愛会総会に出席。
- ・ 田淵さんは午前中出席。
- ・ 終了後打ち上げ 6名
- ・ 今回SD画質はDVD、HD画質はBDでまとめてプログラムを作ったが単体の作品も用意して万一のトラブルに備える。
- ・ 映写用カメラ(石田)
- ・ 長い延長コード、プログラム当日配布用、筆記用具、立て看板(田淵)
- ・ 50型テレビ、BDレコーダー、机、椅子、立て看板、打ち上げ等予約(田淵)
- ・ スチル記録(田淵、谷) 受付(竹下、佐伯、谷) ビデオ記録(新井)
映写(石田、竹田) PS3、HDMIコード予備用、芳名簿(竹田)

(4) 編集援助の状況? 佐伯さんの静止画を使った編集作品に期待しましょう。

3. 作品映写 なし
4. 会員の当面する問題点質疑応答 詳細略
5. 来月の開催日 5/17(金)市民活動センター ワーキングスペースで。
6. 次回のカメラ当番(天野さん)



冬と夏 孫と一緒に金剛山

谷 弘子

第6回ビデオ作品発表会には 孫と一緒に金剛山へ登った作品を出しました。想像していたより早く孫と一緒にハイキングが実現しました。

夏休みハイキングでは ヒグラシを捕まえたり、蝉のぬけがら、コガネムシ、ヒラタクワガタ等を手にすることができ、虫好きな孫たちは、自然の中で何かを見つけようと 眼が輝いていました。

サワガニを見つけて長い間の水遊び、木の階段や石ころだらけの道等 変化

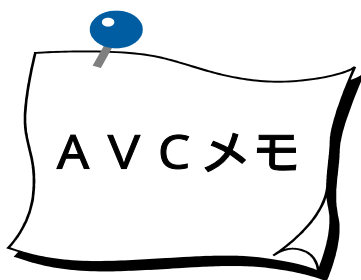
にみちたハイキングでした。

子供の成長は、早いもので、一回目の冬と違い夏休みには、元気に登っている姿をみて、たくましくなったなあと感心しました。

金剛山頂に着くと、「ご苦労さんです。」と言ってスタンプを押してもらえる所があり、孫もうれしそうに押してもらっています。

私にとって体調が悪くても元気をもらえる金剛山。これからもマイペースで、ハイキングを楽しみたいと思います。

目指すのは50回登山です。



「B C C」とは？

竹田幸男

「今回、メールアドレスを変更したのでお知らせします。」という書き出しで送られてくるメールがあります。見ると、なんと数十人の名前が、宛先（To）の欄にずらりと並んでいます。いつもメールを交わしている慣れ親しんだ名前から始まって、見たことも無い男女の名前、名前のオン・パレードが興味をそそります。その中に混じって、「え、彼はこんな人も知っているの」という思いがけない出会いも、時折見かけることがあります。

このようなメールを受け取った時は、「あなたの交友関係一覧を拝見しました。」という皮肉も含めて返信することになっています。

このような現象は、メールの「宛先（To）」の欄に、アドレス帳にある、すべての相手を投入したために起こる結果です。さっき言ったようにご当人の交友関係を皆さんにさらけ出す結果になり、送った人は良いが、送られた人の中には、自分の知らない人に名前とアドレスを開示して欲しくない人も含まれていることでしょう。何より困ることは、このような形でアドレスが広く拡散する結果、それを受け取った人が、もしメールウイルスに感染すると、このアドレスリストに載った人にも、芋づる式にウイルスが伝染する場合があります。

こういう場合に活用して欲しい手段、それが「B C C（B . C . C .）」です。

B C Cとは「Blind Carbon Copy（ブラインド《見えない、目隠しされた》カーボン コピー）」の略です。カーボンコピーとは何かというと、今はコ

ピー機の出現で見かけなくなりましたが、以前は、黒や青、時には赤の「カーボン紙」と言うものが広く使われており、薄い紙の片面または両面にカーボン（炭素）が塗布され、2枚の用紙の間にこのカーボン紙を挟んで、上からボールペンなどで書くと、カーボン紙の下の用紙には複写ができるものです。今はカーボン紙の代わりに上の用紙の裏と下の用紙の表とに塗布された素材同士の化学反応で文字が複写される「ノンカーボン紙」というものが領収書などで使われています。

メールの話に戻って、先ほどのように多数の人に同じ内容のメールを送りたいときには、BCCの欄に複数の人のメールアドレスを入力しておけば、複数の人に同じ内容のメールが届き、受け取った人は、自分以外の誰に同じメールが送られているのかは判りません。名前とアドレスが不必要に拡散することを防げます。同じ会の人などに同じ内容の案内文などを送るときは、メールの文頭に「 会会員ご一同様」などと書いて、このメールが、どのような人々に宛てられたものかをはっきりさせるのが良いと思います。

同じようなものに「CC(C.C.)」があります。「カーボンコピー」の略です。宛先(TO)には、そのメールの内容を伝えたい本来の相手のメールアドレスを入力しますが、CCの欄には「このメールを参考として「CC」の人に送りましたよ」ということを伝えるために参考として送る人のメールアドレスを入力します。会社の仕事であれば客先に郵送した書類のコピーを上司にも渡しておくといった使い方をします。この場合注意すべきは、宛先(TO)の人にもCCの人のアドレスも伝わる、ということです。参考にメールを送った人のアドレスを相手に知らさない場合は「BCC」の欄にメールアドレスを入力します。

このようにメール一つを送るにも、セキュリティの確保とプライバシーの保護、また関係者の気持ちに配慮しながら適切に使い分ける工夫が大切です。